

科学技術週間

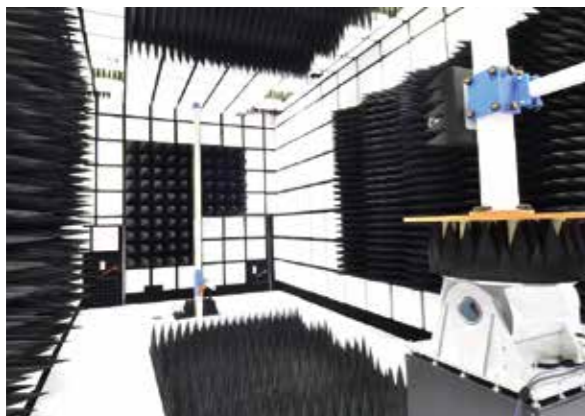
福井県工業技術センター 一般公開

平成30年4月19日(木)~21日(土)
9:00~17:00

超小型人工衛星試験設備の展示紹介

県では、県内企業の技術力を結集して自治体初の超小型人工衛星を開発して打ち上げることにより、ものづくり技術の発展や、衛星データを活用した新しいビジネスなど、地方発の革新的イノベーションの創出を目指す「県民衛星プロジェクト」を推進しています。

工業技術センターでは、超小型人工衛星の製造拠点化を図るため、各種の試験評価設備の整備を行いました。



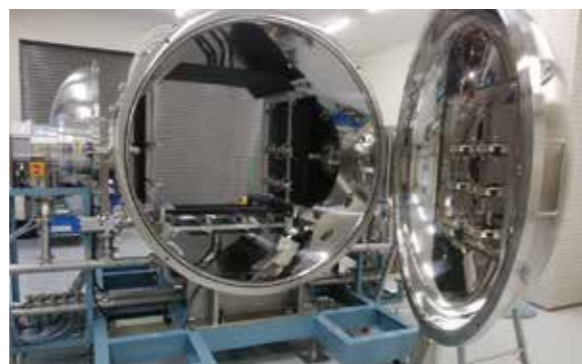
大型電波無響室(6面電波暗室)

人工衛星に用いられる各種アンテナの指向性パターンや放射電力など、地上との通信性能の測定などに使用できます。

展示会場 実証化棟1階
G104 第4実証化研究室

熱真空試験機

真空でかつ太陽光が当たっている部分と日陰になっている部分で温度差が極めて大きいという、宇宙空間の環境を再現することができる装置です。宇宙空間における厳しい温度条件を想定した人工衛星の動作確認試験などを行うことができます。



展示会場 実証化棟1階 G108 常設オペレーションホール

担当者 新産業創出研究部 宇宙・環境研究グループ 未定総括研究員、松井主任研究員、箕主任研究員

ふくいロボットテクニカルセンター「ふくいロボット道場」 導入機器の実演・展示

工業技術センターでは、県内企業への産業用ロボットの導入促進、およびそれによる高付加価値製品の開発を支援するための拠点として、ふくいロボットテクニカルセンター「ふくいロボット道場」の整備を行いました。

この拠点では、多軸アーム型ロボット、双腕ロボット、協働ロボット、軽作業用パワーアシストスーツの各種ロボットを備え、それらの利活用技術の研究開発および技術指導・支援を行うとともに、小型5軸マシニングセンタ、スキャナ型3次元測定装置、解析シミュレーションソフトなどの周辺機器も導入し、産業用ロボットの利活用を効率的に行うことができます。



多軸アーム型
ロボット
複数の関節を持つ
腕型ロボット



双腕ロボット
二本の腕で人間の
作業を再現可能な
ロボット



協働ロボット
安全柵が不要で人
と協働作業できる
ロボット



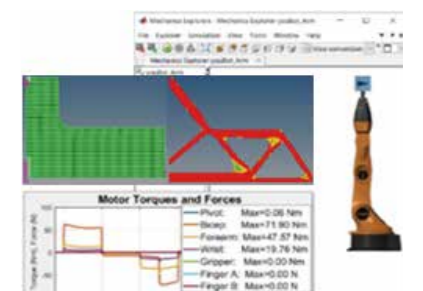
軽作業用パワー
アシストスーツ
補助モーターで身
体への負担を軽減
するスーツ型ロ
ボット



小型5軸
マシニングセンタ



スキャナ型
3次元測定装置



解析
シミュレーションソフト

展示会場 研究棟7階 A701 ふくいロボットテクニカルセンター「ふくいロボット道場」

担当者 機械・金属部 機械電子研究グループ 佐野主任研究員
機械・金属部 金属加工研究グループ 嶋田主任研究員、元山研究員、山口主事